

議事要旨(4) 棚卸資産専門委員会における検討状況について

石井専門委員長及び湯川専門委員より、専門委員会における検討状況について、資料「審議事項(4) 棚卸資産 検討項目」に基づき説明がなされ、次のような質疑応答がなされた。

1. 収益性の低下の原因が異なる事象の取扱いについて

資料「審議事項(4) 棚卸資産 検討項目」の【基本検討項目 B】において、これまで発生原因いて、発生原因は相違するものの、正味売却価額が下落することにより、収益性が低下している点からみれば、それぞれの区分に相違はないと考えられることや、実務上、それぞれを明確に区分することができないという指摘も多いことから、会計処理上は、両者を区別せずに取り扱うという提案がなされている。

この点について、委員等より、両者を明確に区分できる場合も実務上あるという指摘があった。しかし、簿価切下げの要因をどのように把握しようとも、結果としての会計処理に関しては大きな相違のないことが確認された。また、損益計算書における表示【検討項目 C】に関しては、品質低下又は陳腐化に起因する簿価切下げもそれ以外の要因による簿価切り下げも損益計算書上は同様に表示する点に関しては、概ね賛成の意見が多かった。

2. 洗替え法と切放し法の選択適用について

資料「審議事項(4) 棚卸資産 検討項目」では、継続適用を条件に洗替え法と切放し法の選択を認めることとしている点について、委員等より、もう少し積極的な根拠を示すべきではないか、という発言があった。

これらの意見を踏まえ、引き続き専門委員会において検討を行うこととされた。

以 上